



埼玉医科大学医学部 同窓会会報

第82号

令和7年11月



巻 頭 言

同窓会副会長 **森田 智子** (21 期生)



尋常ではない酷暑が続いた夏がやっと終わり、秋が深まってきた今日この頃、皆様いかがお過ごしでしょうか。

この原稿を記載しているのは10月中旬なのですが、自民党総裁に高市早苗氏が選出され、女性初の内閣総理大臣就任が確実視されています。候補者5名のうち、診療報酬・介護報酬の引き上げに言及してくれたのは高市早苗氏お一人だけという状況でしたので、この公約が果たされるのか今後注目していきたいと思います。小さな内科医院を経営する立場としては生活習慣病療養指導料にだいぶ骨身を削られており、頭の片隅で「これだと〇点収入が減るな」などと考えながら診療を行うのはあまり気分の良いものではありません。7月の参院選で日本医師会推薦候補が17万票余りを得て比例上位で当選したことも合わせ「医療に必要な費用はきちんと支払う」という体制を作っていっていただけるとありがたいです。

少数与党だからということで反ワクチンを掲げている方が政権に入り込んだりしないかどうかについても、アメリカの現状を見るに非常に不安です。極端なことを言った方が支持を得られやすいのでしょうかけれども、医学は人気とかイデオロギーとかと関係ない科学であることを認識して政治家は動いてほしいものです。

今年のノーベル賞を二人の日本人が受賞したことも話題となりました。ノーベル医学・生理学賞の坂口志文先生が発見された制御性T細胞（Treg）については馴染みのある先生方も多いのではないかと思います。免疫チェックポイント阻害薬で1型糖尿病や甲状腺機能低下症などの自己免疫疾患になってしまうがん患者さんを診察することが多いのですが、Tregで自己免疫疾患にならずに程よくがん免疫を高めるような研究も進んでいるそうです。我々が勉強すべきことは増えるばかりで大変ですが、なんとか時代に食らいついていかなければなりません。今後坂口先生の講演会の企画などあればぜひ参加したいと思います。それより先にマンガ『はたらく細胞』を読むべきかもしれません…。

先日当同窓会の埼玉県支部会に出席いたしました。熊谷市のラグビー場に併設されたホテルで行われ、そこを本拠地に行っている埼玉パナソニックワイルドナイツのゼネラルマネージャー飯島均さんの講演会を拝聴しました。日本ラグビーの足取りと飯島さんの人生が重なって非常に興味深い講演でした。ラグビーのルールもよくわからない私ですが、今度試合を見にいつてみようかなと思います。皆様もスポーツの秋を楽しんでください。